

冬に流行する感染症③「ノロウイルス」

ノロウイルスによる食中毒や感染性胃腸炎は、一年を通じて発生し特に冬季に流行します。感染力が強く（ウイルス量100個程度でも感染が成立）、集団発生など問題となります。潜伏期間は24～48時間で主に吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などの症状が出現します。便中や嘔吐物にウイルスが大量に含まれている可能性があり感染対策が重要となります。

日ごろの備えが感染拡大を防ぎます！

ノロウイルスの感染経路

(1)人からの感染	接触感染→患者の便や嘔吐物からヒトの手などを介しての二次感染
	飛沫感染→感染した人の飛沫などにより感染
(2)食品からの感染	経口感染→ウイルスに汚染された食品や加熱不十分な二枚貝などを摂取して感染

ノロウイルス感染予防

(1)「手洗い」を行いましょう

アルコール手指消毒はインフルエンザには効果的ですが、ノロウイルスには効果を期待できません。食事前、排泄後、調理前後は石けんと流水で手洗いしましょう。

(2)「人からの感染」を防ぎましょう

感染した人の便や吐物からの二次感染や、飛沫感染を予防しましょう。

(3)「食品からの感染」を防ぎましょう

加熱して食べる食材は中心部までしっかり加熱しましょう。調理器具や調理台はいつも清潔にしましょう。



感染性胃腸炎患者・疑い患者の対応

- ・待合場所の指定、隔離等の実施
- ・便や吐物を処理する際は、マスク、プラスチックエプロンまたはガウン、手袋を装着する
- ・**手袋を外した後も石けんと流水による手洗い実施**
- ・便や吐物の処理でた廃棄物は密閉後速やかに廃棄する
- ・嘔吐物や便で汚染された場所は、拭き取り後1000ppm濃度の次亜塩素酸ナトリウム液で消毒する（嘔吐時は広範囲に消毒する）
- ・患者が手を触れる場所（待合室・診察室、トイレやドアノブ手すりなど）は、200ppm次亜塩素酸ナトリウム液で使用後や定期的に清掃を行う

群馬県感染症情報トップページ 群馬県感染情報→注目情報
感染性胃腸炎にリーフレットがあります。ご参照ください。

汚物処理時のポイント

- ・个人防护具の着用
- ・立ち入り制限
- ・十分な換気
- ・効果的な消毒薬の使用
- ・広範囲の清浄化（消毒）
- ・処置後の手洗い



嘔吐物処理に必要な物品をセットし、いつでも対応できるように準備と訓練を行いましょう！

※群馬県感染症対策連絡協議会ホームページ、地域感染対策に嘔吐物処理演習手順書あり。ご活用ください。

次亜塩素酸ナトリウム使用の注意点

- ・混ぜない
- ・直接触れない
- ・調整後の消毒液はできる限り使いきる（作り置きしない）

流行期には、職員の健康管理と環境清拭の強化、有症状者の、①早期発見、②早期対応、③早期連絡 疑ったその時からノロウイルス対応を実施する